

商業・貿易・金融

卸売・小売業(事業所数、従業者数等)

令和3年6月1日現在の卸売業の事業所数は3,211事業所、従業者数は2万5,115人、年間商品販売額は1兆7,805億円となっています。

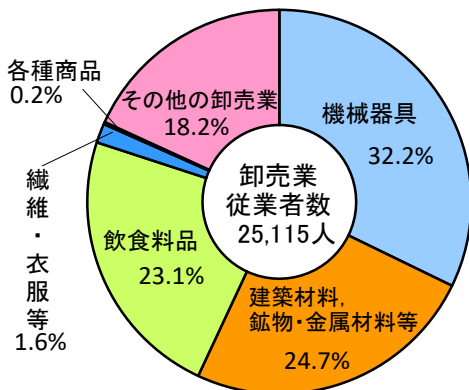
また、卸売業の従業者数を業種別にみると、機械器具卸売業が8,087人(構成比32.2%)で最も多くを占めています。

一方、小売業の事業所数は1万1,879事業所、従業者数は9万5,834人、年間商品販売額は1兆7,447億円となっています。

また、小売業の従業者数を業種別にみた場合、飲食料品小売業が3万9,519人(構成比41.2%)で最も多くを占めています。

図34 卸売業の従業者数の産業分類別構成

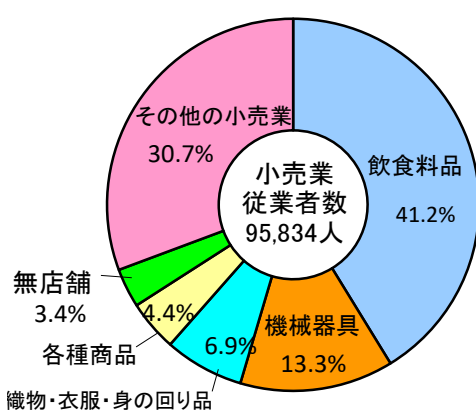
令和3年6月1日現在



資料出所 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

図35 小売業の従業者数の産業分類別構成

令和3年6月1日現在



資料出所 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

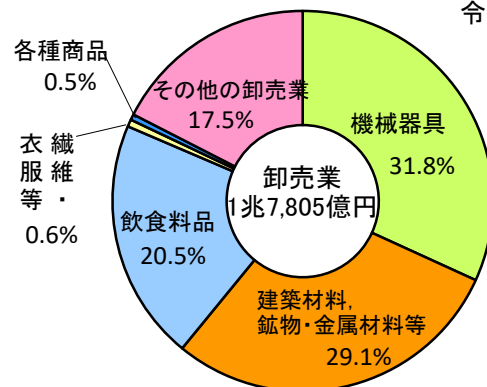
業種別年間商品販売額

令和2年の年間商品販売額を業種別にみると、卸売業は機械器具卸売業が5,665億円(構成比31.8%)で最も多く、次いで建築材料、鉱物・金属材料等卸売業5,182億円(同29.1%)、飲食料品卸売業3,652億円(同20.5%)と続いています。

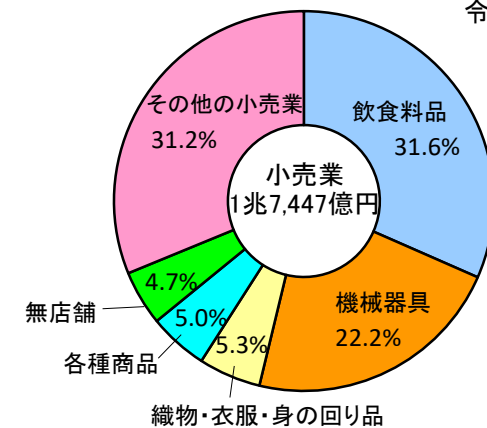
小売業は飲食料品小売業が5,509億円(構成比31.6%)で最も多く、次いで機械器具小売業3,872億円(同22.2%)などとなっています。

図36 卸売・小売業の年間商品販売額の産業分類別構成

令和2年



令和2年



資料出所 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

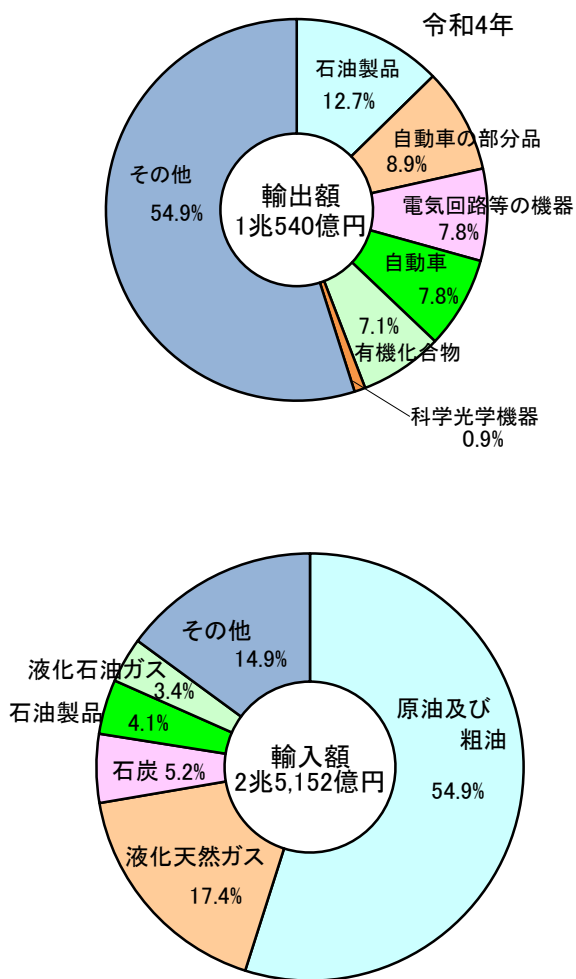
貿易

輸出・輸入ともに本県の大半を占める四日市港の令和4年の貿易状況を見ると、輸出額は1兆540億円で前年に比べ1,965億円(22.9%)、輸入額は2兆5,152億円で前年に比べ9,977億円(65.7%)増加しました。

品目別でみると、輸出は石油製品1,334億円(構成比12.7%)で最も多く、次いで自動車の部分品934億円(同8.9%)、電気回路等の機器821億円(同7.8%)、自動車820億円(同7.8%)の順となっています。

輸入は原油及び粗油が1兆3,810億円(構成比54.9%)で最も多く、次いで液化天然ガス4,376億円(同17.4%)、石炭1,307億円(同5.2%)の順となっています。

図37 四日市港の品目別貿易状況



資料出所 名古屋税関「貿易年表」

金融、企業倒産

令和5年3月31日現在の預貯金残高は、16兆8,595億円となり、前年に比べ1,853億円(1.1%)増加しました。貸出残高は、5兆7,492億円となり前年に比べ1,094億円(1.9%)増加しました。

令和5年の企業倒産件数は130件となり、前年に比べ65件(100.0%)増加しました。負債総額は124億円となり13億円(9.3%)減少しました。

図38 預貯金・貸出残高の推移

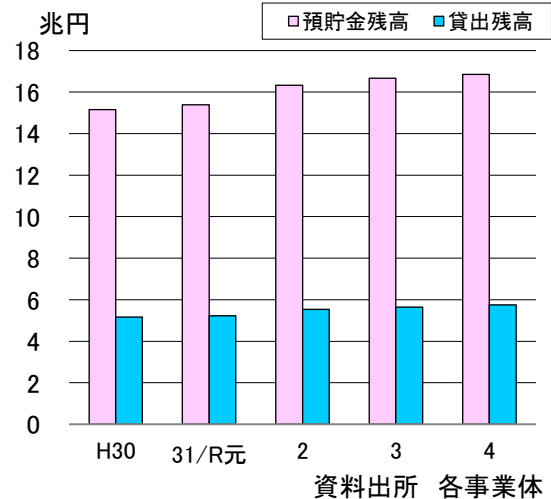


図39 企業倒産状況の推移

